

一般

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名		動物愛護事業			事業コード	0344
担当課等	所属名	市保健所 生活衛生課		担当係名		
	課長名	佐藤 圭	担当者名	落合康司		電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	環境との共生	コード 6	施策	生活環境の保全	コード 1
	基本事業	環境衛生の確保	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 4款 3項 3目 動物愛護事業(004-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度 ⇒ (開始年度 20年度～)					
事務事業の概要	「動物の愛護及び管理に関する法律」及び「(岩手県)動物の愛護及び管理に関する条例」に基づく動物愛護の推進並びに狂犬病予防法に基づく飼い犬の登録及び狂犬病予防注射の推進					
根拠法令等	「動物の愛護及び管理に関する法律」、「(岩手県)動物の愛護及び管理に関する条例」及び「狂犬病予防法」					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
平成20年に中核市として盛岡市保健所が設置されたことに伴い、県から事務委譲となったことによる。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
特になし						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
「狂犬病予防法」に加えて、平成20年度から事務委譲により、「動物の愛護及び管理に関する法律」及び「(岩手県)動物の愛護及び管理に関する条例」が加わった。毎年犬の登録頭数が増加傾向にあり、さらに市民のペット飼育数(犬以外の愛玩動物を含む)が増えていると考えられることから、業務量が増加する傾向にあると思われる。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	市内で飼われている特定動物を含む全ての愛玩動物	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 飼犬登録頭数 B. 動物取扱業事業所数 C.	単位 単位 単位	頭 件 件
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) ・狂犬病予防法に基づく犬の登録申請及び登録事項の変更届、死亡届等の受付・登録事務と鑑札の交付事務(委託含) ・狂犬病予防注射の実施及び注射済票交付事務 ・予防注射案内ハガキの作成送付事務 ・適正飼育の啓発 ・犬のしつけ教室 ・動物取扱業の許可 ・動物取扱業立入検査 ・動物取扱業責任者研修 ・犬ねこの引取り・譲渡・処分 ・地域ねこモデル事業実施 ・苦情調査・指導等 23年度計画(23年度に計画している主な活動) ・狂犬病予防法に基づく犬の登録申請及び登録事項の変更届、死亡届等の受付・登録事務と鑑札の交付事務(委託含) ・狂犬病予防注射の実施及び注射済票交付事務 ・予防注射案内ハガキの作成送付事務 ・適正飼育の啓発 ・犬のしつけ教室 ・動物取扱業の許可 ・動物取扱業立入検査 ・動物取扱業責任者研修 ・犬ねこの引取り・譲渡・処分 ・地域ねこモデル事業実施 ・苦情調査・指導等	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 狂犬病予防注射実施頭数 B. 動物取扱業継続施設立入件数 C. 犬の保護収容数	単位 単位 単位	頭 件 頭
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	・狂犬病の発生を予防し、その蔓延を防止することにより公衆衛生の向上及び公共の福祉の増進に寄与する。 ・動物取扱業者に対し、その責務を果たすべく、動物購入者、所有者等に適正な飼養又は保管の方法について必要な説明を行い、理解させるように努めてもらう。 ・愛護動物の所有者に対し、愛護動物の適正な飼育・管理を指導する。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 狂犬病予防注射実施率 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input checked="" type="radio"/> 維持する】 B. 動物取扱業継続施設重要事項指導率 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input checked="" type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】 C. 犬の殺処分率 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input checked="" type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位 単位 単位	% % 頭

<p>⑦結果</p> <p>(上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)</p>	<p>環境衛生が守られている</p>	<p>⇒</p> <p>⑧上位成果指標</p> <p>(上位基本事業の成果指標)</p>	<p>焼却処理施設での年間処理量(単位:t)</p> <p>資源ごみ処理施設での年間処理量(単位:t)</p> <p>粗大ごみ処理施設での年間処理量(単位:t)</p> <p>生活公害に関する苦情件数(単位:件)</p> <p>市営墓園利用率(市営墓園使用区画数/市営墓園基地数)(単位:%)</p>
--	--------------------	--	--

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	飼犬登録頭数	頭	13,922	14,331	14,650	14,305	14,400	14,500	26年度 14,550
対象 指標B	動物取扱業事業所数	件	73	76	78	78	78	79	26年度 80
対象 指標C									年度
活動 指標A	狂犬病予防注射実施頭数	頭	11,840	12,051	12,599	11,962	12,240	12,470	26年度 12,513
活動 指標B	動物取扱業継続施設立入件数	件	36	34	50	27	50	52	26年度 55
活動 指標C	犬の保護収容数	頭	121	80	85	84	85	85	26年度 85
成果 指標A	狂犬病予防注射実施率	%	85.0	84	86	84	85	86	26年度 86
成果 指標B	動物取扱業継続施設重要事項指導率	%	86.1	79	77	70	68	66	26年度 65
成果 指標C	犬の殺処分数	頭	27	14	13	19	15	12	26年度 9

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	8,916	8,345	8,802	8,635	9,317	9,317	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円				3,168	2,583	2,583	*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	1,688	0	0	0	0	0	*****
	⑧その他	千円	7,228	8,345	8,802	5,467	6,734	6,734	*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	8,916	8,345	8,802	8,635	9,317	9,317	*****
	延べ業務時間数	時間	6,000	8,000	7,000	7,000	9,000	8,000	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	24,000	32,000	28,000	28,000	36,000	32,000	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	32,916	40,345	36,802	36,635	45,317	41,317	*****


3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 人と動物の共生する社会作りに資する
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由: ↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: ↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: ↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> その他
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 動物愛護精神と愛玩動物の適正飼養の普及啓発を推進している。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 狂犬病の発生に備えた防疫対策であり、発生時は市民の生命が脅かされる事態となる。また、愛玩動物の適正飼養が遵守されない場合、市民の身体若しくは財産への危害発生や市民生活への悪影響を及ぼすことが懸念される。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名: 岩手県動物愛護事業 ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> できない 理由: 法定事業であり、かつ、県からの委譲事務であること。
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 法定事務事業の縮小は不可能であり、現状での削減は難しい。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 既に、狂犬病予防注射事務の全てを委託しており、集合注射に従事する職員の事務軽減を図っている。また、実際に現地へ赴いての業務となるため人件費を削減することは難しい。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 条例に定められた金額を手数料として負担している。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 条例に定められた金額は、他市町村と同額である。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革/改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること 行政サービスの維持・向上を図りながら一層の業務の効率化を進めるとともに、今後は民間団体との連携を推進していかなければならない。</p> <p>②改革, 改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか? それをどう克服していきますか? (関連部門や全庁的な調整の必要性, トップへの要望も含む) 業務内容が特殊であり専門性が要求されることから、今後とも、職員を最新の知識や技術を習得するための研修等へ派遣する必要がある。</p>
---------	--

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ② 有効性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ③ 効率性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり :</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>狂犬病予防法、動物の愛護及び保護に関する法律に基づく業務であり、今後とも狂犬病予防注射実施率の向上、住民への動物愛護精神と動物の適正管理に関する知識の普及啓発に努める必要がある。</p>										
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">→</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> <td><input type="checkbox"/> 改革改善を行う</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td><input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 改革改善を行う			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)									
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止		<input type="checkbox"/> 改革改善を行う									
			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携									
												
<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>法律に定められた業務であり、継続して実施する必要がある。</p>												